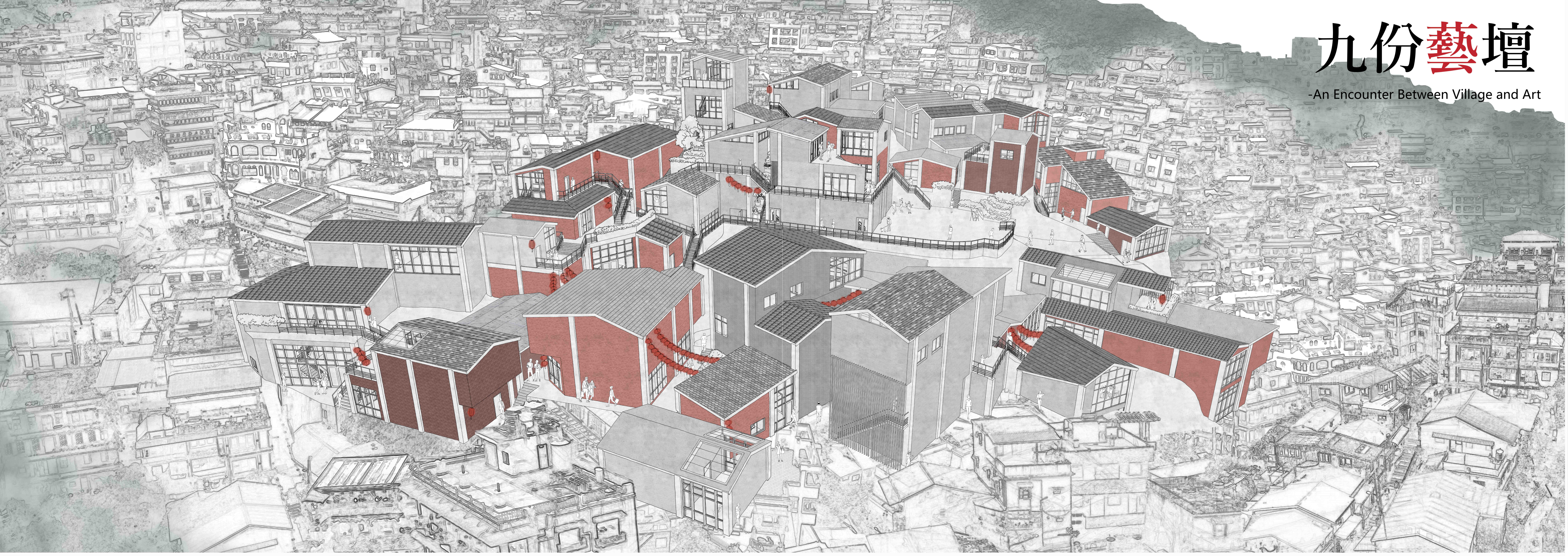
九份藝壇

-An Encounter Between Village and Art



01 背景

鉱業の発展により、かつて九份は台湾北部で最も繁栄した町のひとつだった。だが、1971年の金鉱の閉山によって、鉱業と共にあったこの町は急速に衰退した。そして1990年代、海を望む景色、提灯で彩られる商店街といった町並みを活かした観光業が発展し、町には再び多くの賑わいが戻った。
　一方で、現在の九份には他の観光地と同じような店が建ち並び、観光客は九份を訪れても九份の持つ魅力が感じとれなくなってしまった。住民の地域に対する誇りが失われ、高齢化と過疎化も進行し、町からは徐々に九份の歴史と記憶が失われ始めている。

山間の集落に特有の有機的な空間は商店街と離れた住宅エリアでしか見られない。

商店街は主に観光客向けの店となり、店の経営内容も均一化している状況にある。

唯一の文化施設である博物館は個人によって経営されており、設備や資金、サービスが不足している状況にある。

近年隣に建設されたショッピングモールが九份の観光客を減少させることを危惧する声がある。

02 歴史

1684年
台湾諸羅知縣の李麒光が『臺灣雜記』で、地元の先住民も黄金を拾いに行くことを記述していた。

1890年
劉銘傳が鉄路の工事現場の九份下流で砂金を発見し、金鉱脈を発見した。

1895-1896年
日本政府は清政府の金砂局の管理方式を引き継ぎ、金砂署を設立した。治安問題により、九份は藤田傳三郎の藤田組に採掘権を与えた。

1899年
藤田組は製錬場を設立し、粗金の機械精錬を開始した。

1909-1920年
顔雲年は藤田組から九份全域の鉱区を借り受けて台陽鉱業株式会社を成立し金鉱業務と石炭鉱業務を行った。

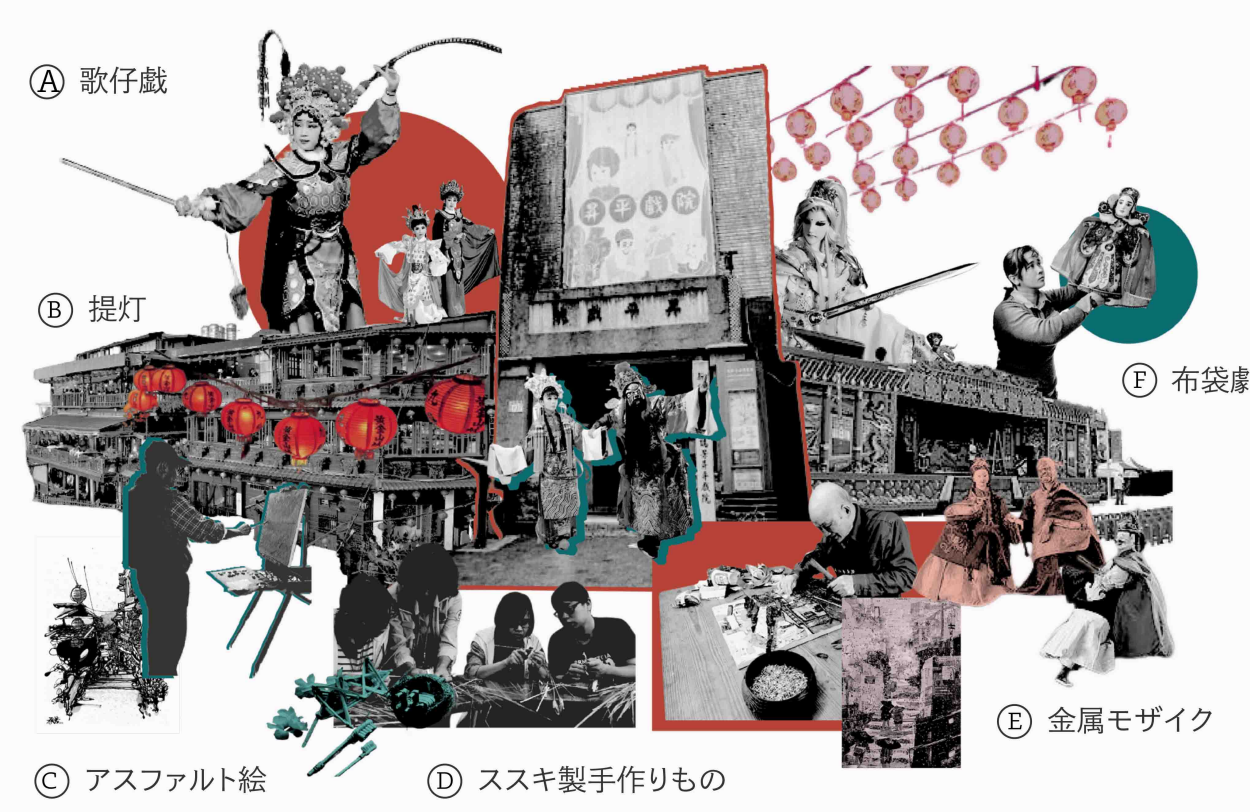
1930年代
軽便鉄道の建設が終了。台湾総督府は《探鑛獎勵規則》を制定し、金鉱、銀鉱、銅鉱などの採鉱を目的とした開発に補助金を提供し、九份地域の金の採掘量は最高潮に達した。

1943-1971年
第二次世界大戦の影響で貿易が中断したため、日本政府は台陽鉱業会社に停工命令を発令した。

1986年
採掘量の減少により衰退した町だが、映画の舞台となったことで再び大きな話題となった。

1990年代
GDPの増加を背景として国内旅行が流行し、九份は台湾北部有数の観光スポットとなった。

03 伝統文化


Ⓐ 歌仔戲
Ⓑ 提灯
Ⓒ アスファルト絵
Ⓓ ススキ製手作りもの
Ⓔ 金属モザイク
Ⓕ 布袋劇

04 町の特徴

室内で高低差を利用するデザイン

階段で構成された町並み

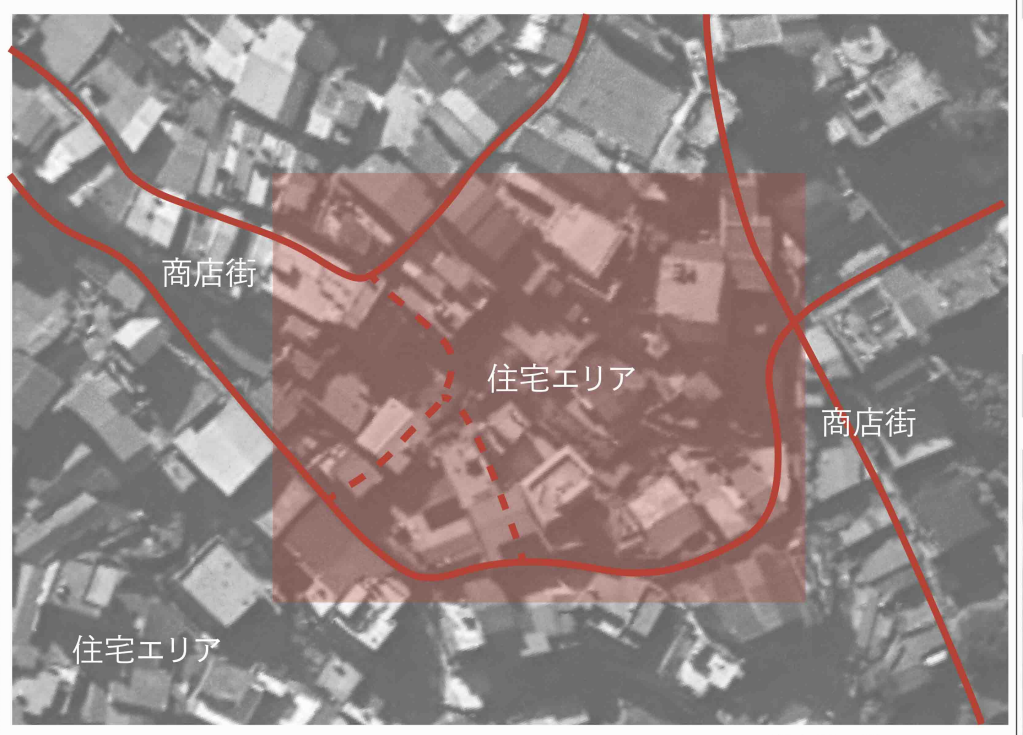
鉱業の名残を残す石造壁を持つ建物が多い

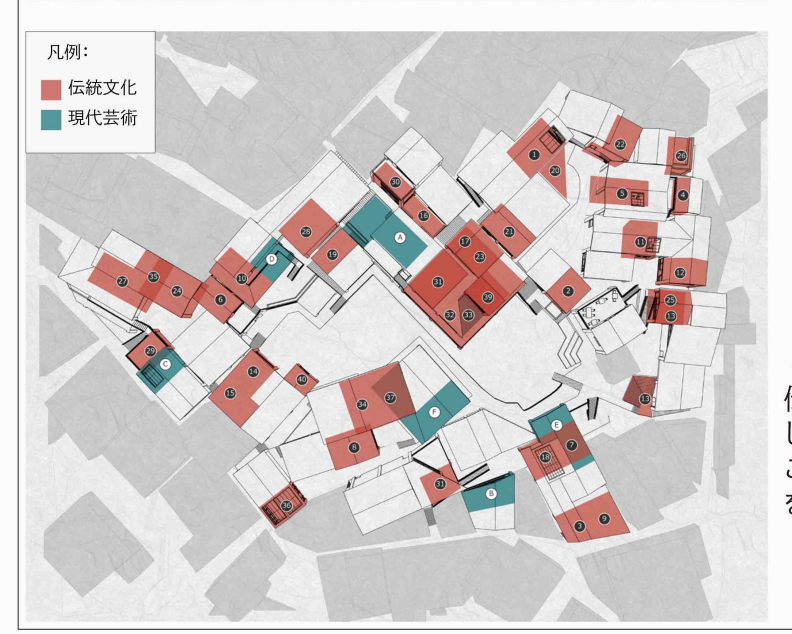
05 提案内容

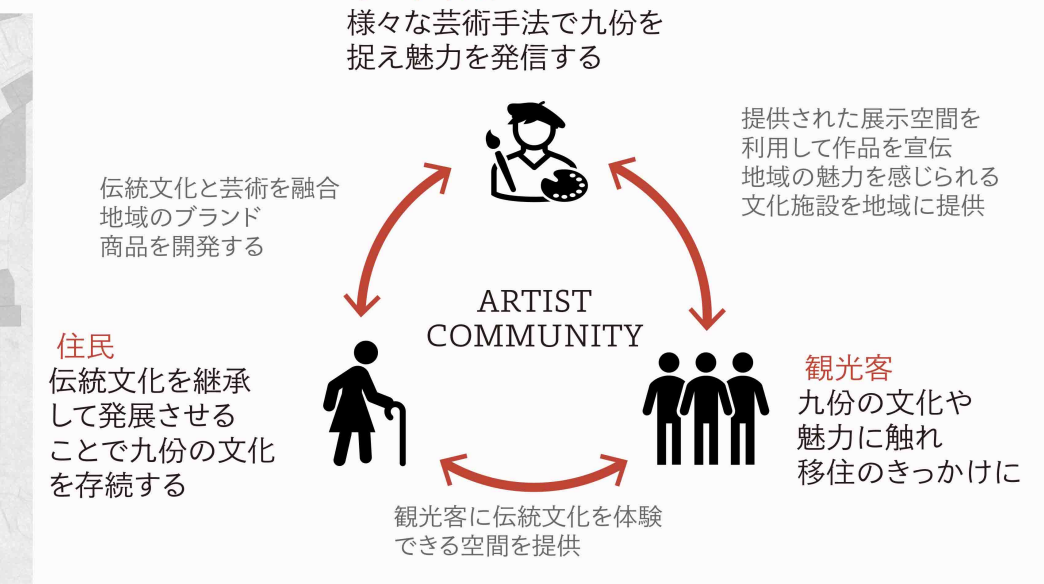
観光客と住民双方に忘れられた九份の文化を喚起するため、九份の隙間を埋めるような芸術・伝統文化と暮らしが共存するアーティスト・コミュニティの形成を提案する。
　敷地は商店街に挟まれた住宅エリアである。店舗がないため観光客が来ることはない。住民と観光客の関係性は希薄なものとなっている。
　そこで、住民としてアーティストを呼び込み、アーティスト・コミュニティを形成する。アーティストらは九份をテーマとして創作を行い、自らの芸術手法で九份を解釈し、九份の文化は新たな形を得て町の有機的空間に展示される。住民は文化の担い手となり、町の伝統と記憶が継承されていく。観光客は九份の持つもう一つの姿を知り、町に愛着をもつきっかけとなる。アーティスト・住民・観光客の三者間の交流により、九份は町の新たな顔を見せ始める。

商店街裏の住宅エリアへの通路

商店街と住宅エリアがつながる通路


商店街
住宅エリア
商店街
住宅エリア
商店街の道
住宅エリアの裏道


凡例:
伝統文化
現代芸術



アーティスト
様々な芸術手法で九份を捉え魅力を発信する

提供された展示空間を利用して作品を宣伝
地域の魅力を感じられる文化施設を地域に提供

伝統文化と芸術を融合
地域のブランド商品を開発する

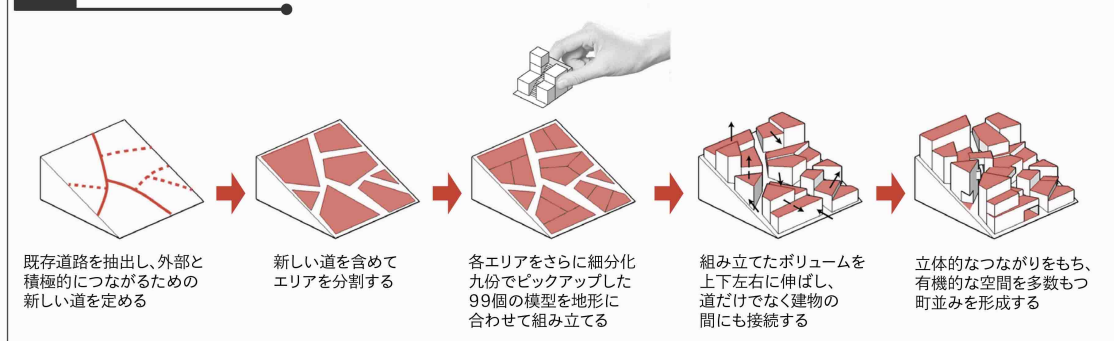
ARTIST COMMUNITY

住民
伝統文化を継承して発展させることで九份の文化を存続する

観光客
九份の文化や魅力に触れ移住のきっかけに

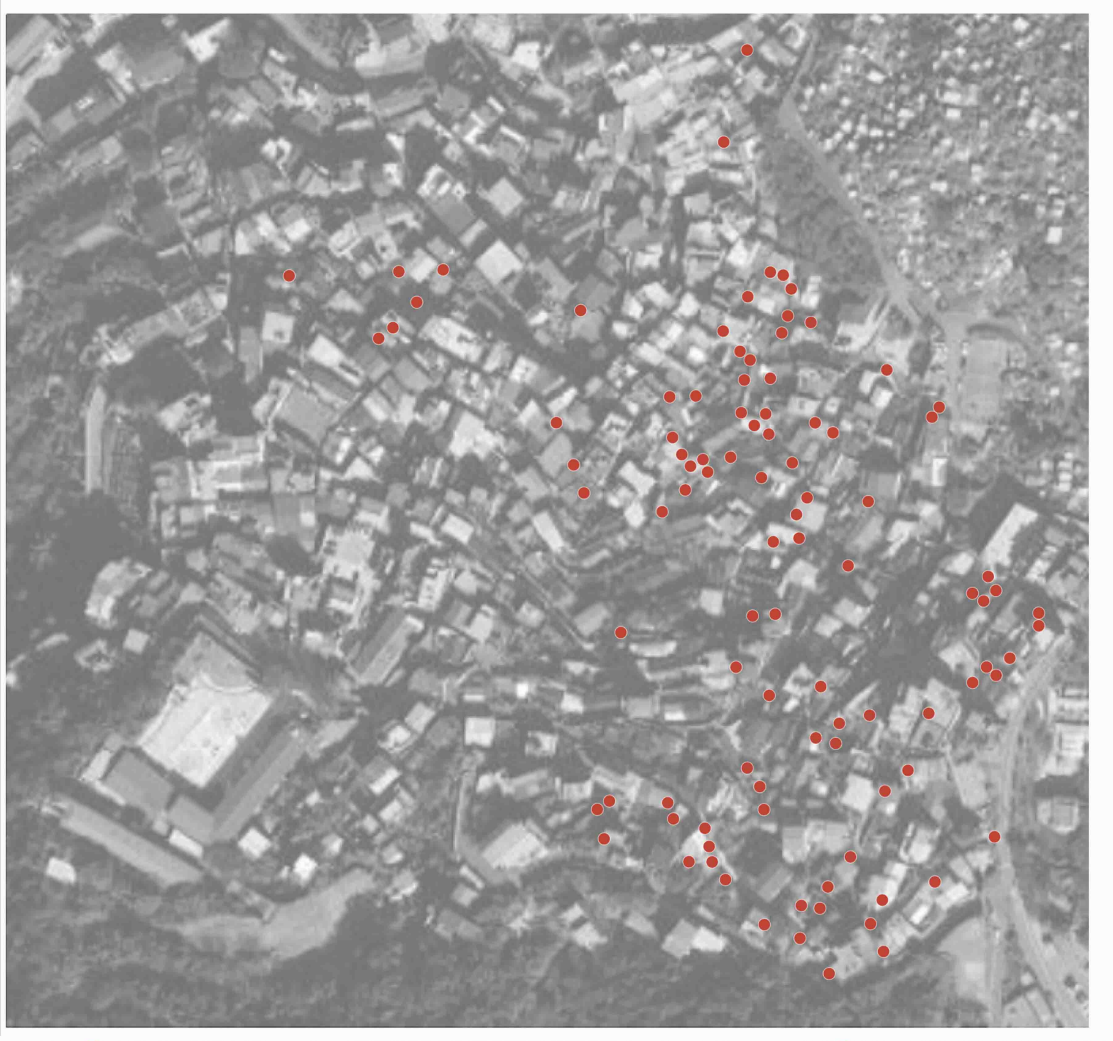
観光客に伝統文化を体験できる空間を提供

06 設計手法

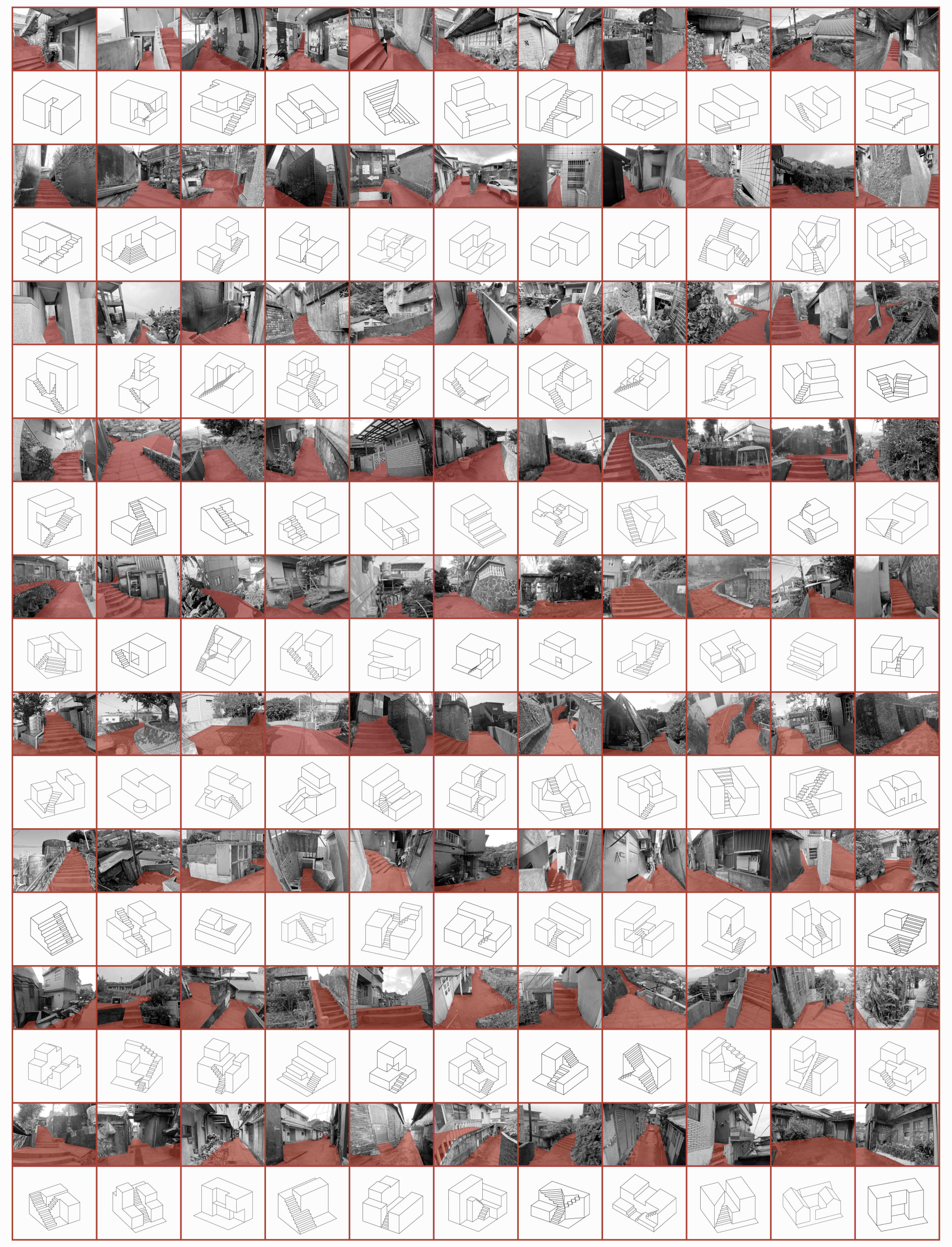


既存道路を抽出し、外部と積極的につながるための新しい道を定める → 新しい道を含めてエリアを分割する → 各エリアをさらに細分化 九份でピックアップした99個の模型を地形に合わせて組み立てる → 組み立てたボリュームを上下左右に伸ばし、道だけでなく建物の間にも接続する → 立体的なつながりをもち、有機的な空間を多数もつ町並みを形成する

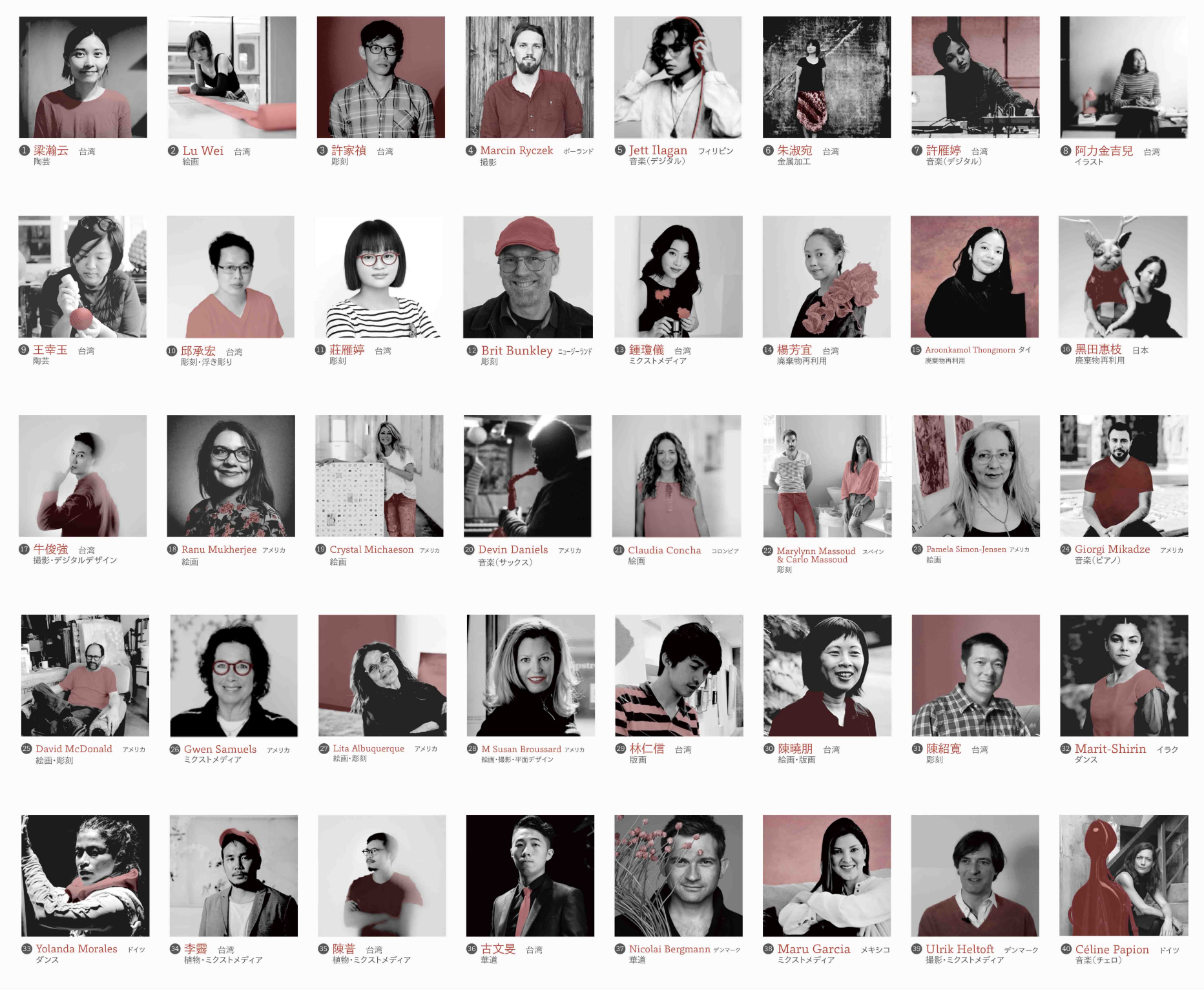
07 参考場所



08 99個のモデル

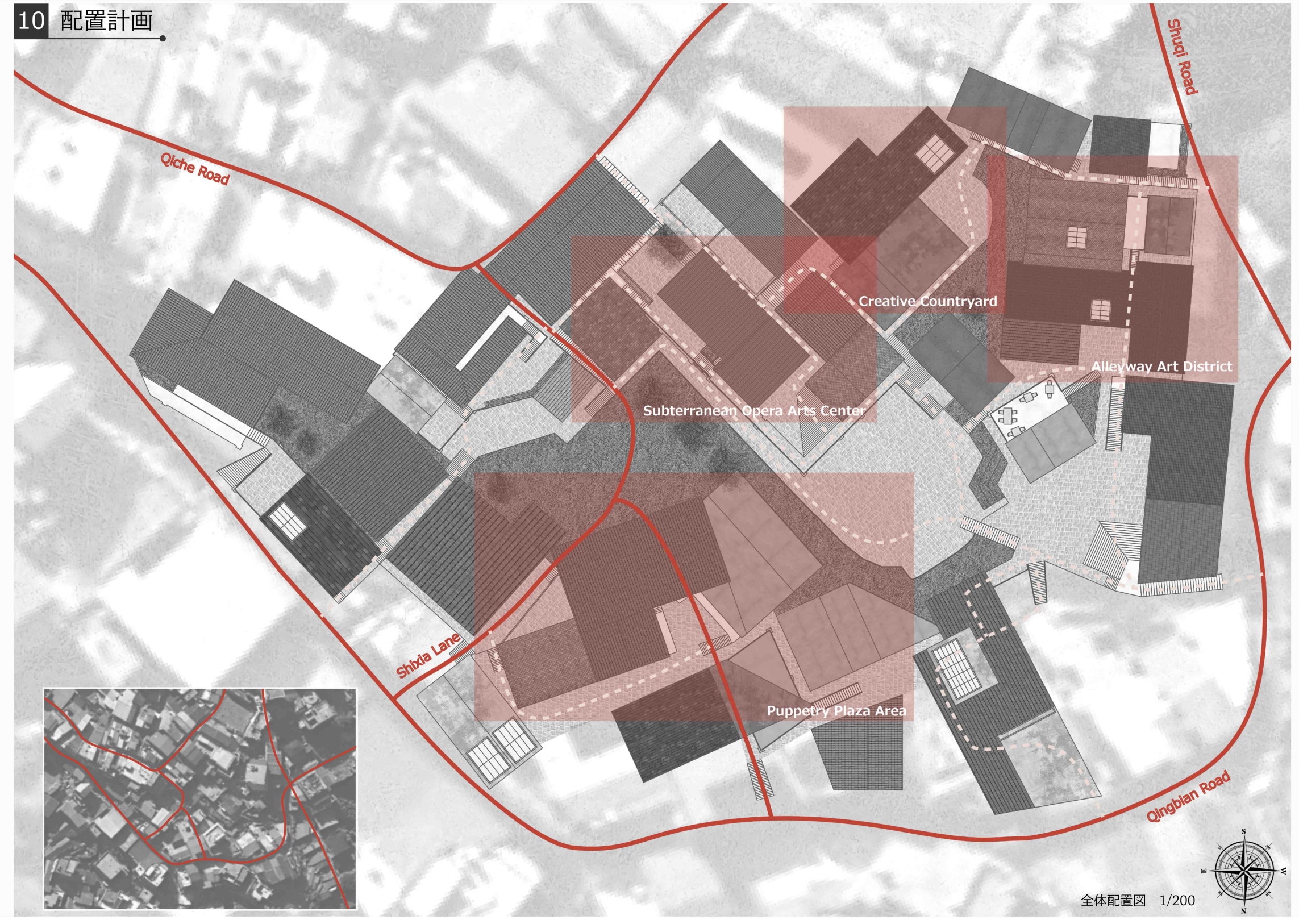


09 現代芸術



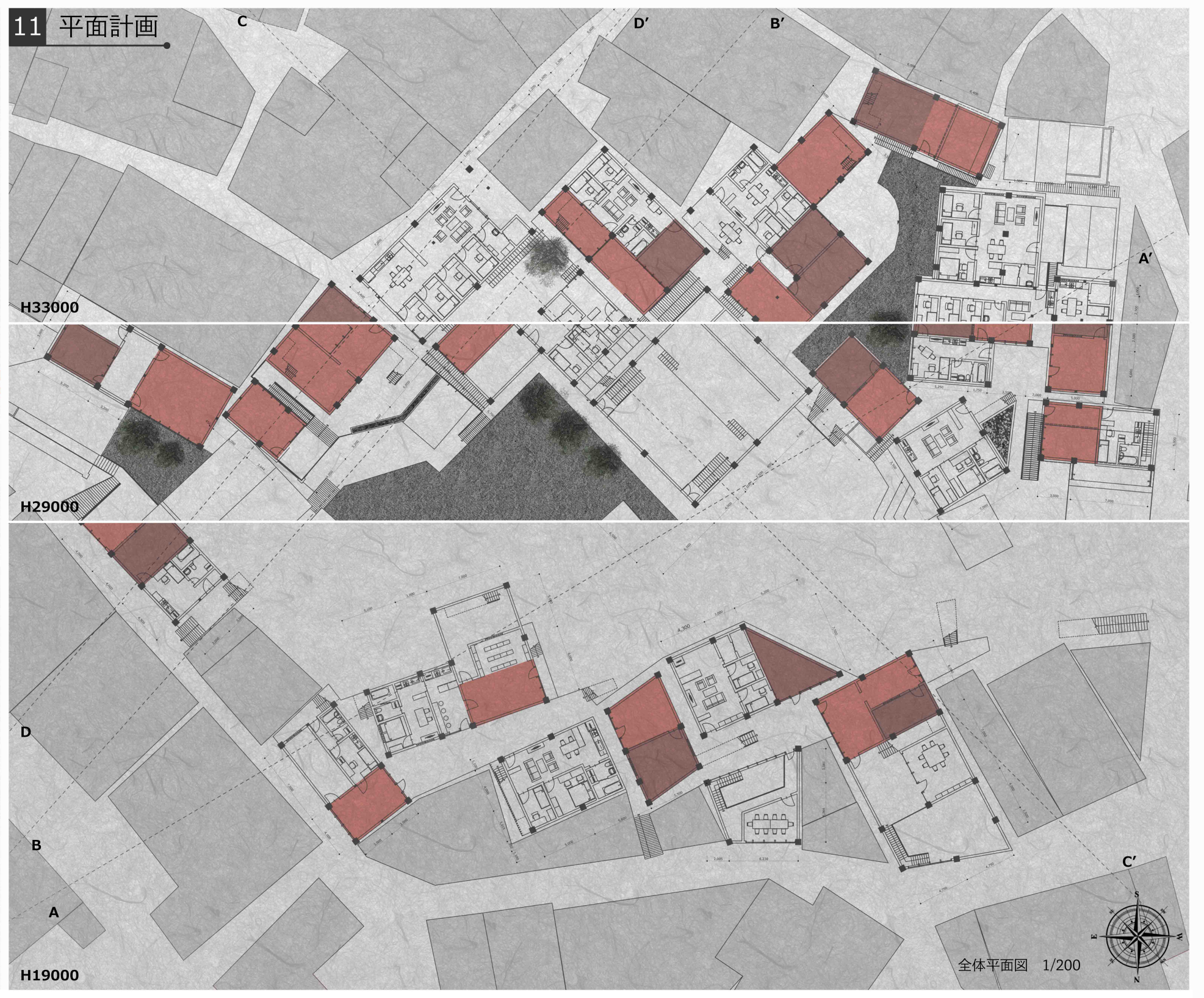
① 梁瀚云 台湾 陶芸
② Lu Wei 台湾 絵画
③ 許家禎 台湾 彫刻
④ Marcin Ryczek ポーランド 撮影
⑤ Jett Ilagan フィリピン 音楽(デジタル)
⑥ 朱淑宛 台湾 金属加工
⑦ 許雁婷 台湾 音楽(デジタル)
⑧ 阿力金吉兒 台湾 イラスト
⑨ 王幸玉 台湾 陶芸
⑩ 邱承宏 台湾 彫刻・浮き彫り
⑪ 莊雁婷 台湾 彫刻
⑫ Brit Bunkley ニュージーランド 彫刻
⑬ 鍾瓊儀 台湾 ミクストメディア
⑭ 楊芳宜 台湾 廃棄物再利用
⑮ Aroonkamol Thongmorn タイ 廃棄物再利用
⑯ 黒田惠枝 日本 廃棄物再利用
⑰ 牛俊強 台湾 撮影・デジタルデザイン
⑱ Ranu Mukherjee アメリカ 絵画
⑲ Crystal Michaeson アメリカ 絵画
⑳ Devin Daniels アメリカ 音楽(サックス)
㉑ Claudia Concha コロンビア 絵画
㉒ Marylynn Massoud & Carlo Massoud スペイン 彫刻
㉓ Pamela Simon-Jensen アメリカ 絵画
㉔ Giorgi Mikadze アメリカ 音楽(ピアノ)
㉕ David McDonald アメリカ 絵画・彫刻
㉖ Gwen Samuels アメリカ ミクストメディア
㉗ Lita Albuquerque アメリカ 絵画・彫刻
㉘ M Susan Broussard アメリカ 絵画・撮影・平面デザイン
㉙ 林仁信 台湾 版画
㉚ 陳曉朋 台湾 絵画・版画
㉛ 陳紹寬 台湾 彫刻
㉜ Marit-Shirin イラク ダンス
㉝ Yolanda Morales ドイツ ダンス
㉞ 李霽 台湾 植物・ミクストメディア
㉟ 陳普 台湾 植物・ミクストメディア
㊱ 古文旻 台湾 華道
㊲ Nicolai Bergmann デンマーク 華道
㊳ Maru Garcia メキシコ ミクストメディア
㊴ Ulrik Heltoft デンマーク 撮影・ミクストメディア
㊵ Céline Papion ドイツ 音楽(チェロ)

10 配置計画


Qiche Road
Shuqi Road
Creative Countryard
Alleyway Art District
Subterranean Opera Arts Center
Shixia Lane
Puppetry Plaza Area
Qingbian Road

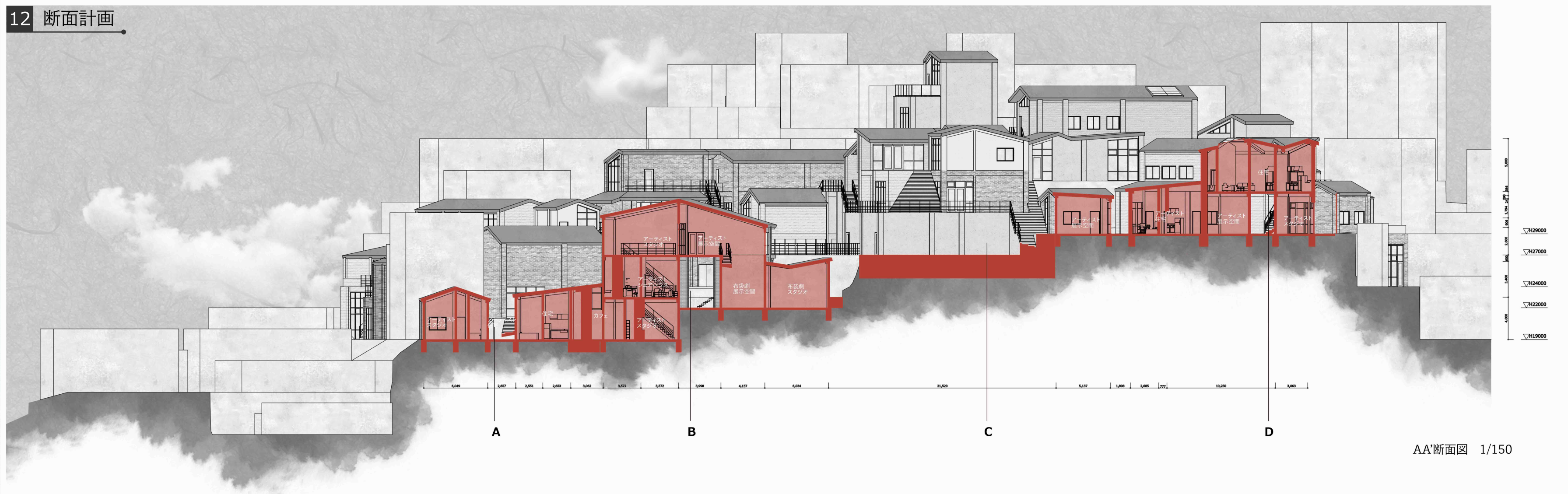
全体配置図 1/200

11 平面計画

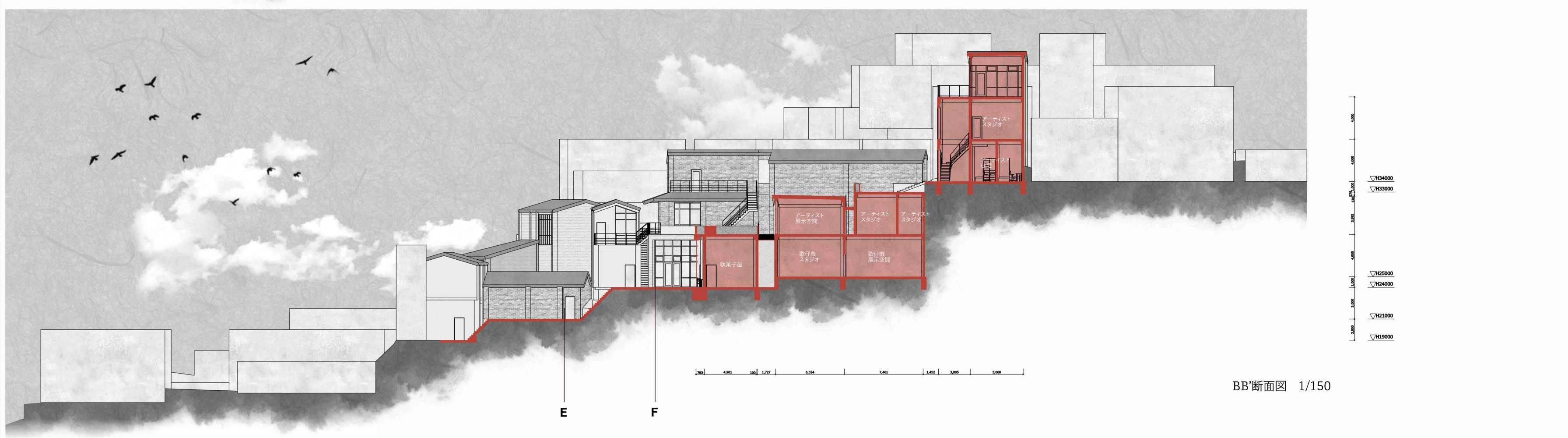

C
D'
B'
A'
H33000
H29000
D
B
A
C'
H19000

全体平面図 1/200

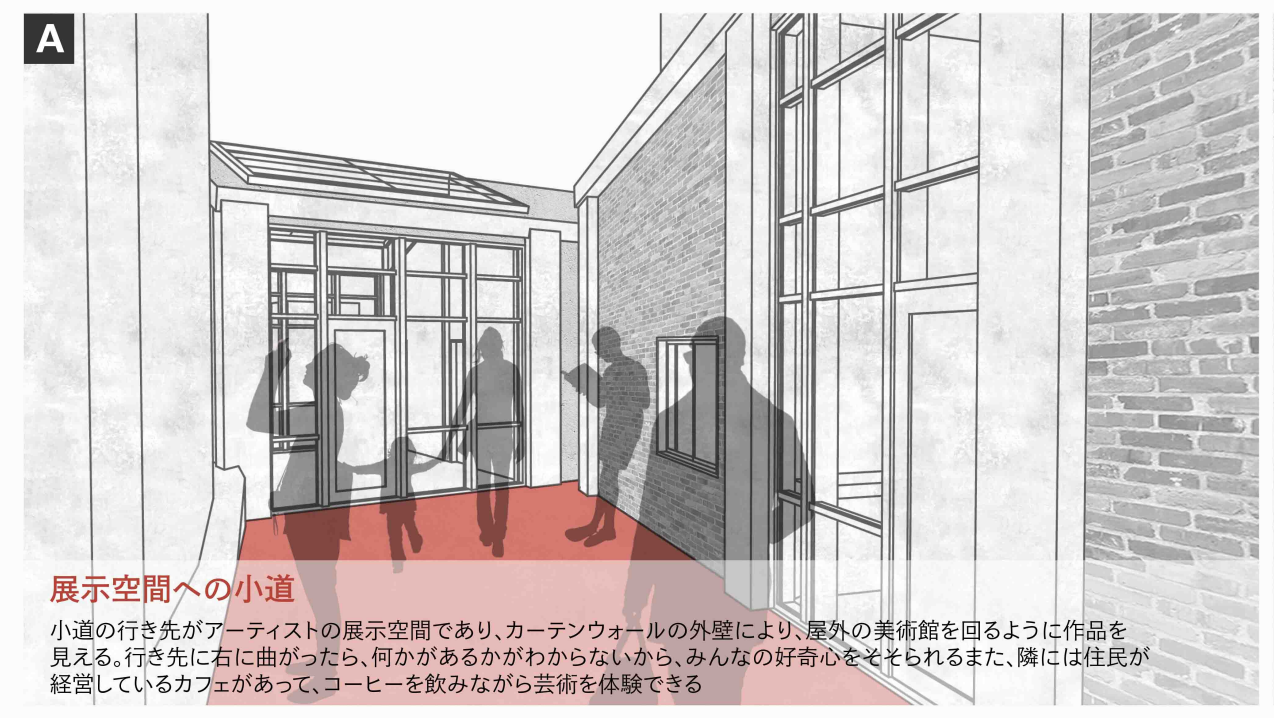
12 断面計画



AA'断面図 1/150



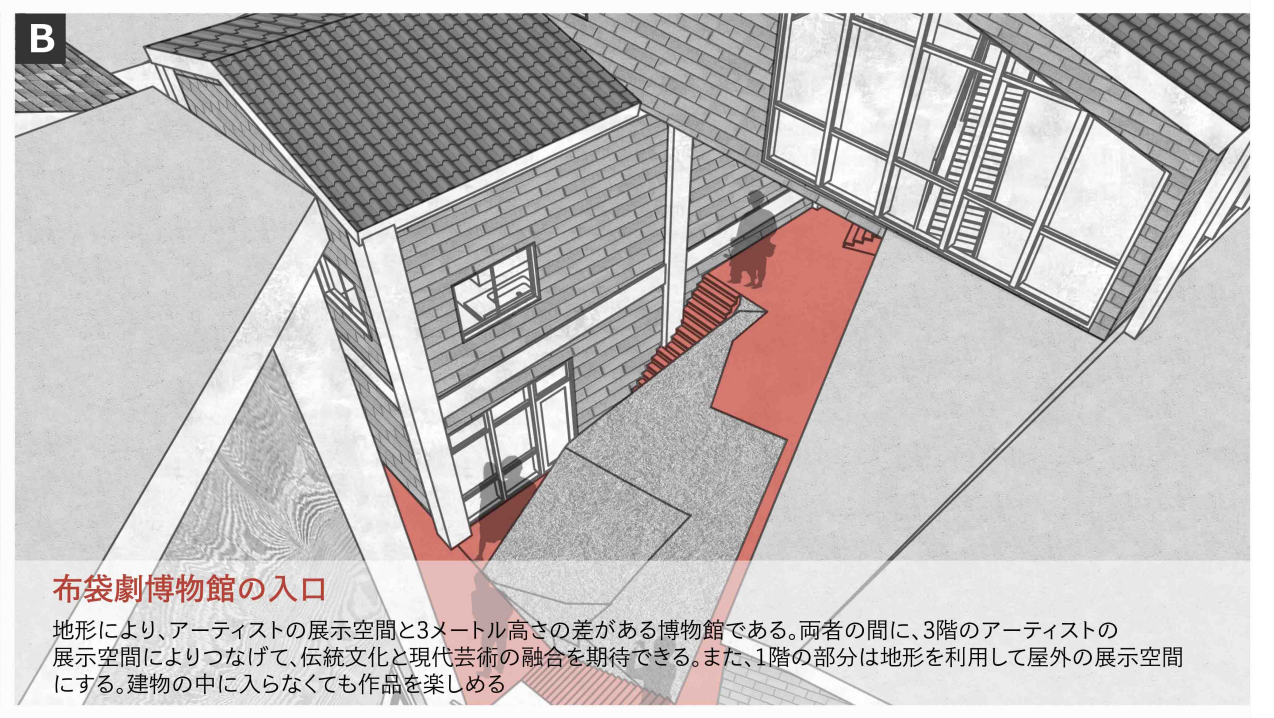
BB'断面図 1/150



A

展示空間への小道

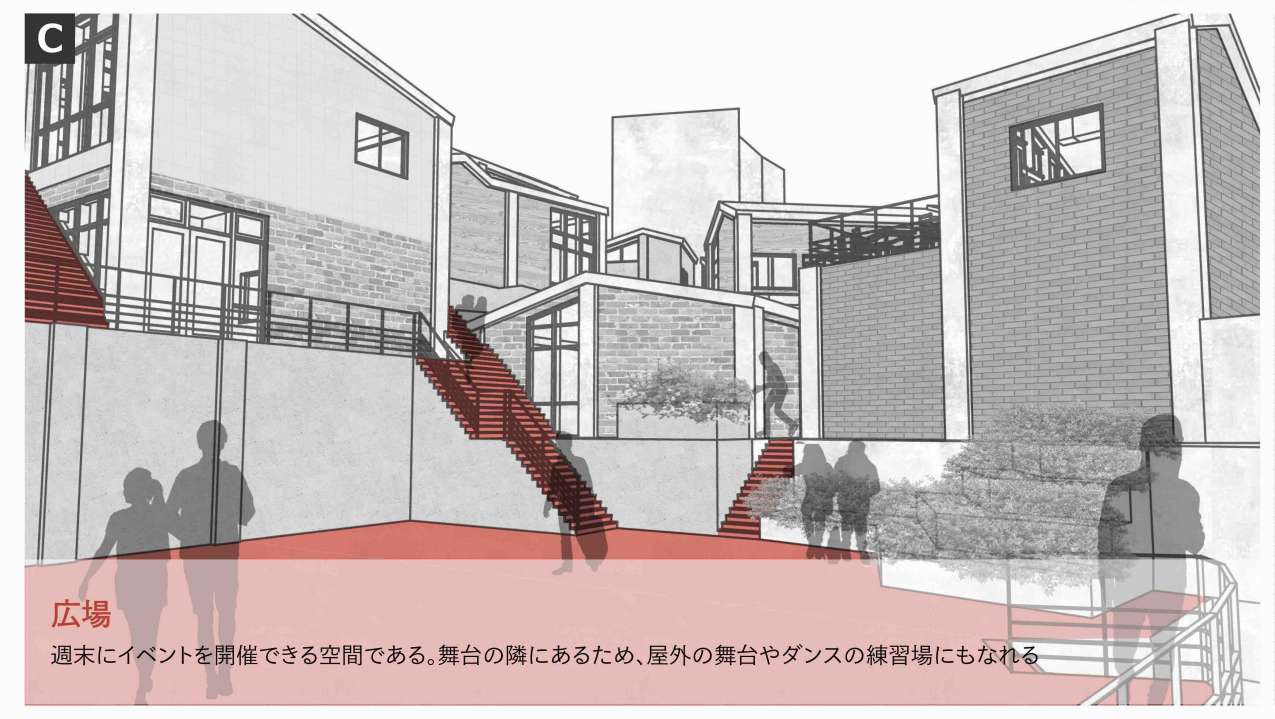
小道の行き先がアーティストの展示空間であり、カーテンウォールの外壁により、屋外の美術館を回るように作品を見える。行き先に右に曲がったら、何かがあるかがわからないから、みんなの好奇心をそそられるまた、隣には住民が経営しているカフェがあって、コーヒーを飲みながら芸術を体験できる



B

布袋劇博物館の入口

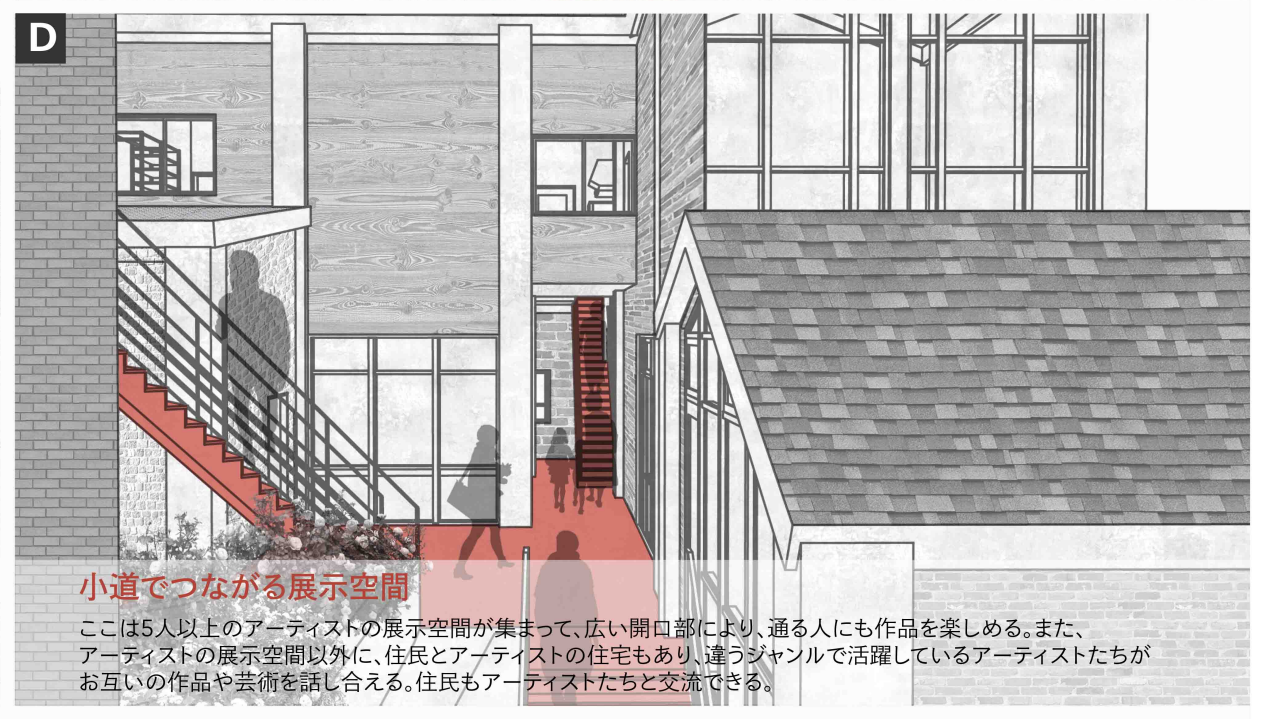
地形により、アーティストの展示空間と3メートル高さの差がある博物館である。両者の間に、3階のアーティストの展示空間によりつなげて、伝統文化と現代芸術の融合を期待できる。また、1階の部分は地形を利用して屋外の展示空間にする。建物の中に入らなくても作品を楽しめる



C

広場

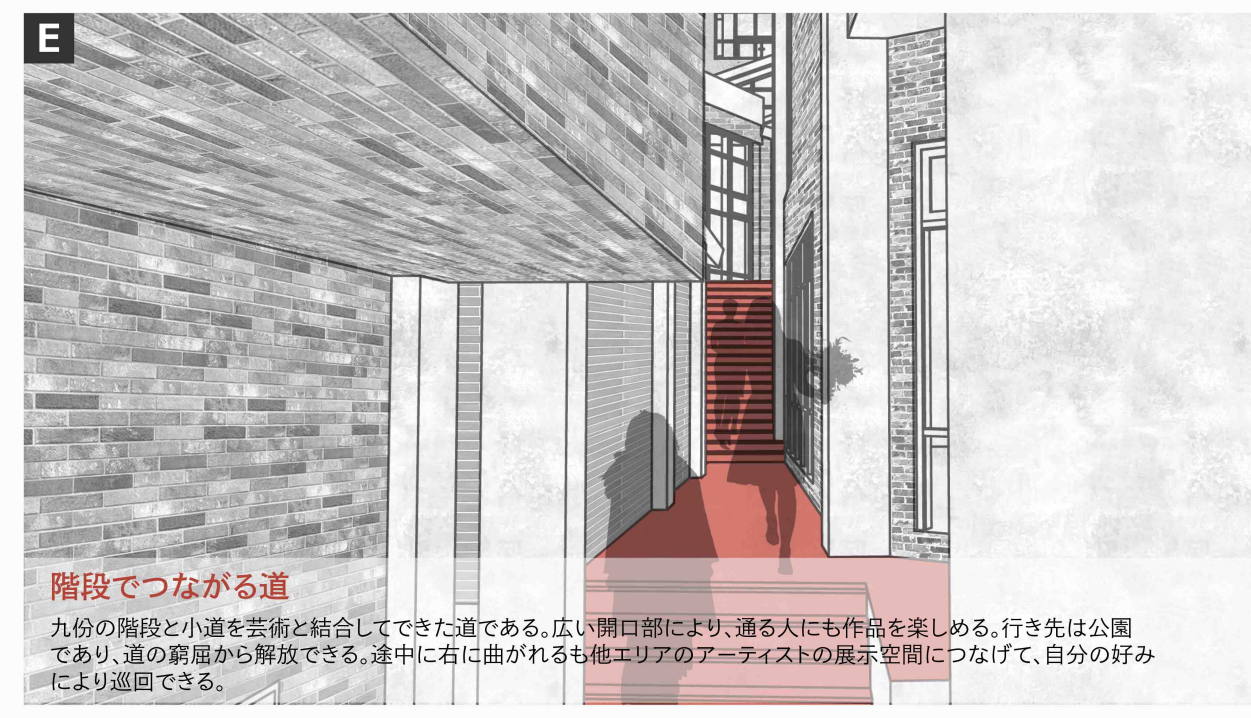
週末にイベントを開催できる空間である。舞台の隣にあるため、屋外の舞台やダンスの練習場にもなれる



D

小道でつながる展示空間

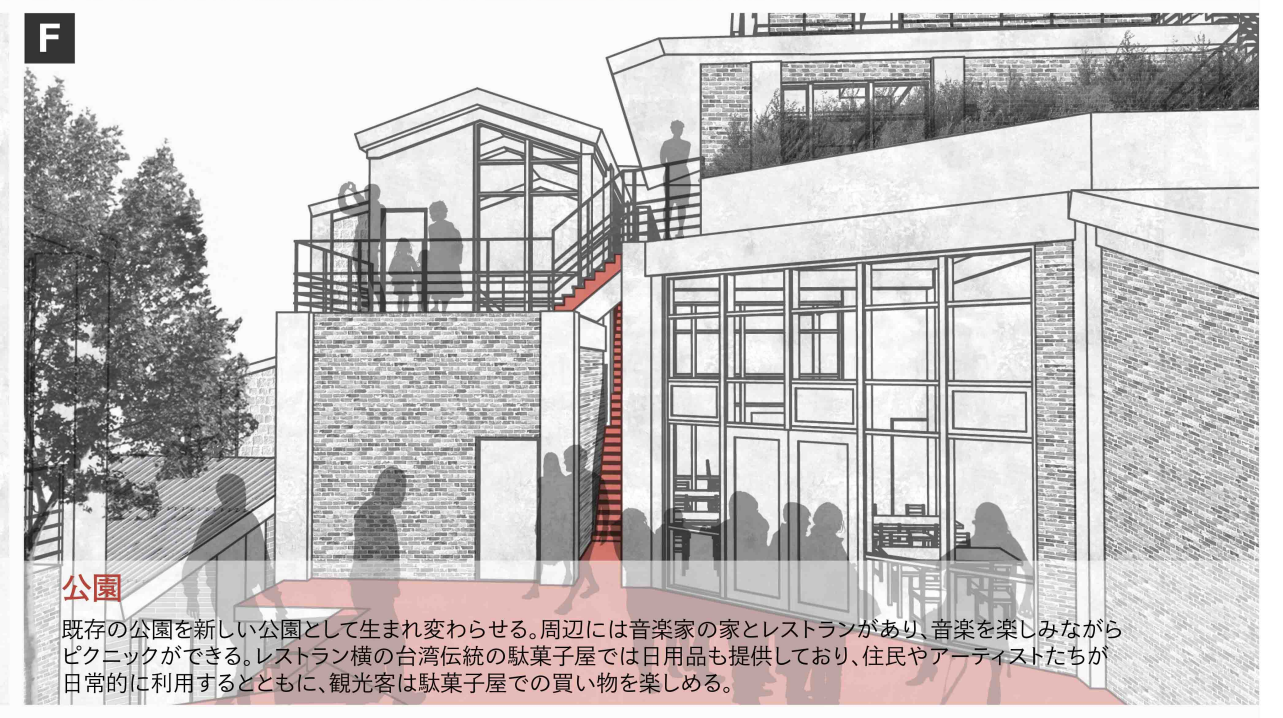
ここは5人以上のアーティストの展示空間が集まって、広い開口部により、通る人にも作品を楽しめる。また、アーティストの展示空間以外に、住民とアーティストの住宅もあり、違うジャンルで活躍しているアーティストたちがお互いの作品や芸術を話し合える。住民もアーティストたちと交流できる。



E

階段でつながる道

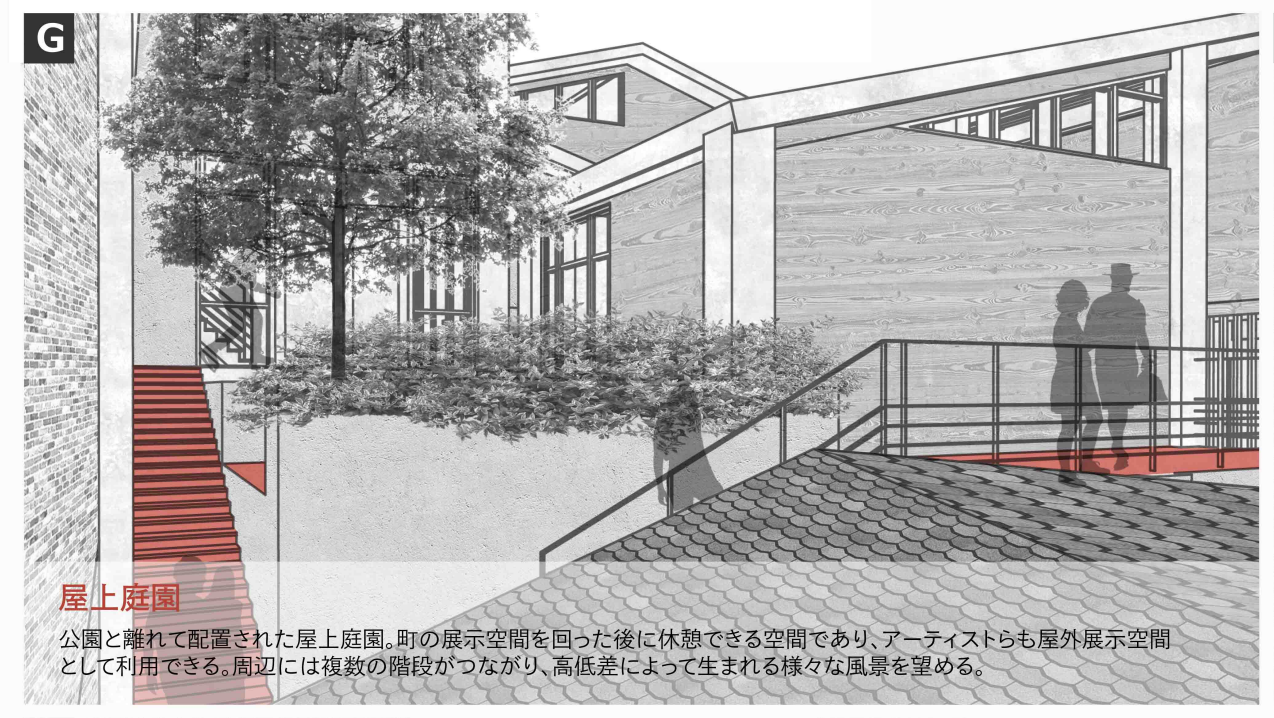
九份の階段と小道を芸術と結合してできた道である。広い開口部により、通る人にも作品を楽しめる。行き先は公園であり、道の窮屈から解放できる。途中に右に曲がれるも他エリアのアーティストの展示空間につなげて、自分の好みにより巡回できる。



F

公園

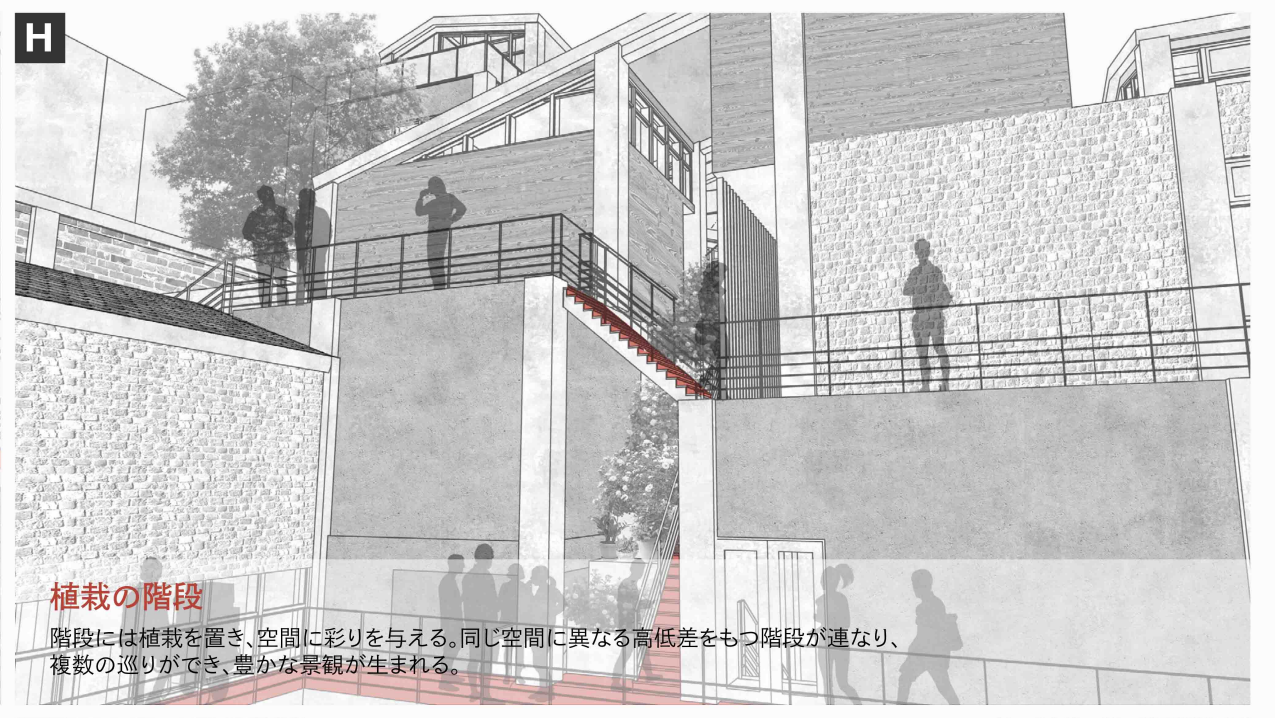
既存の公園を新しい公園として生まれ変わらせる。周辺には音楽家の家とレストランがあり、音楽を楽しみながらピクニックができる。レストラン横の台湾伝統の駄菓子屋では日用品も提供しており、住民やアーティストたちが日常的に利用するとともに、観光客は駄菓子屋での買い物を楽しめる。



G

屋上庭園

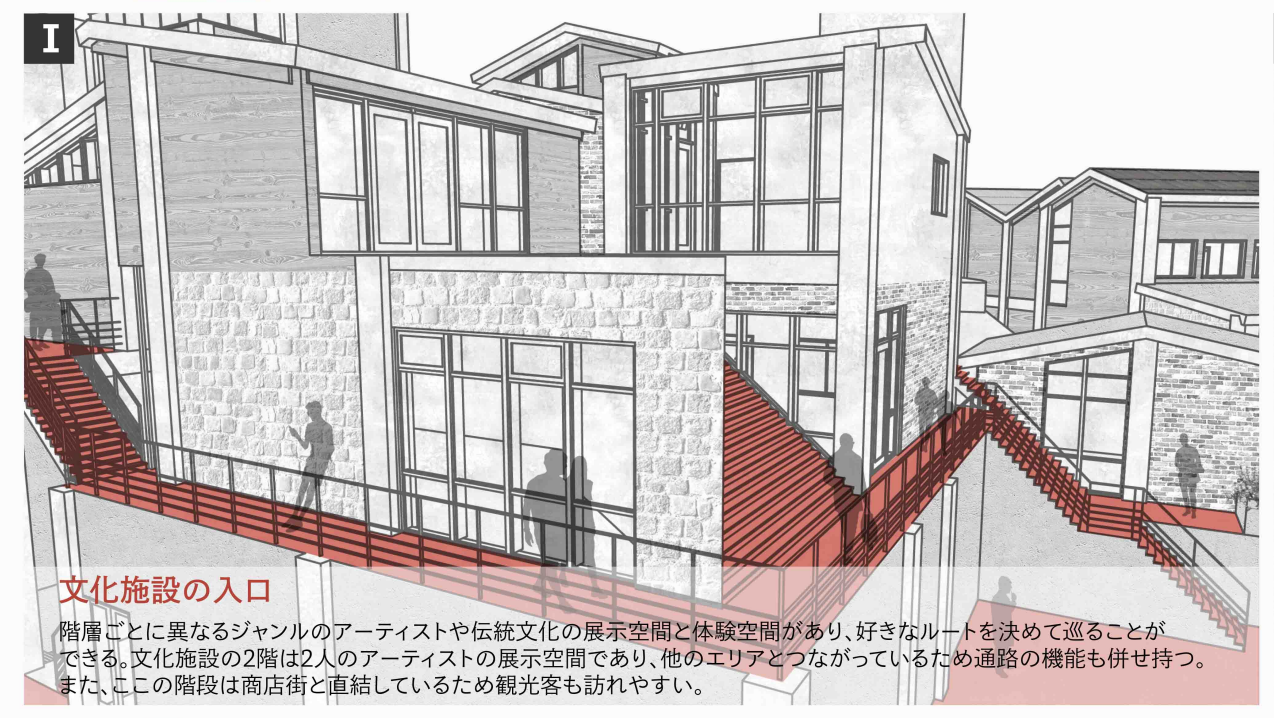
公園と離れて配置された屋上庭園。町の展示空間を回った後に休憩できる空間であり、アーティストらも屋外展示空間として利用できる。周辺には複数の階段がつながり、高低差によって生まれる様々な風景を望める。



H

植栽の階段

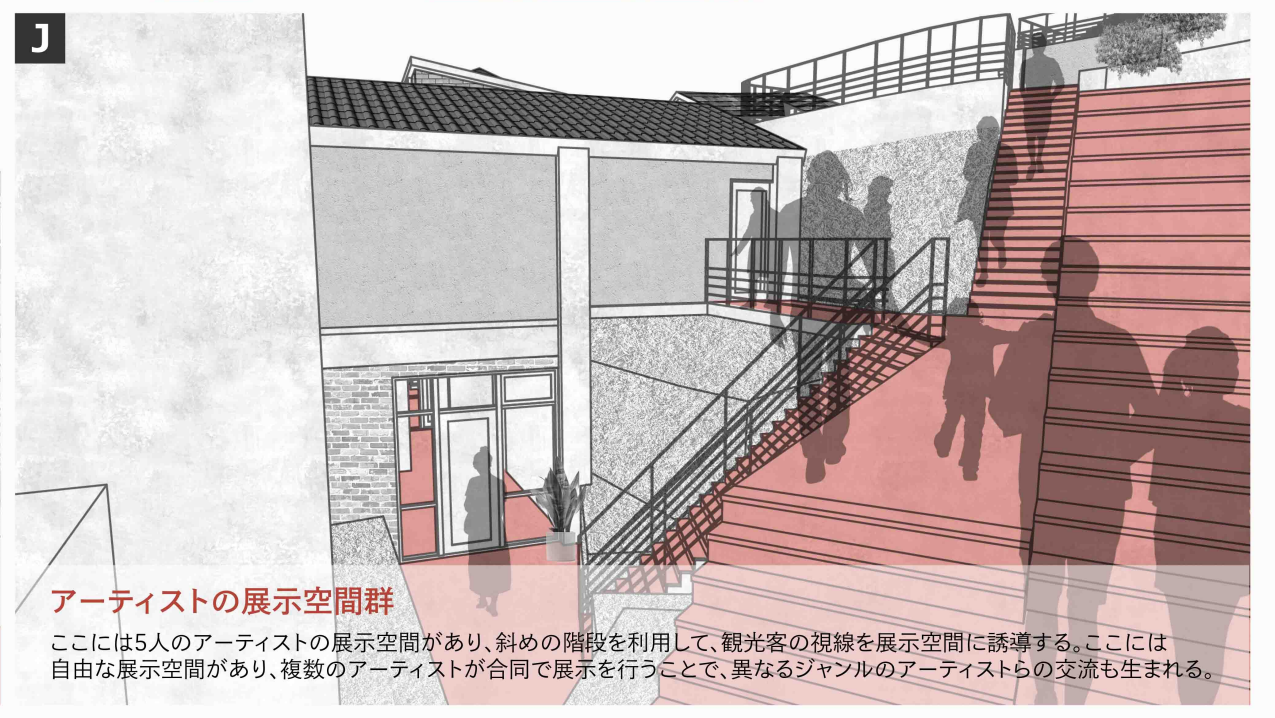
階段には植栽を置き、空間に彩りを与える。同じ空間に異なる高低差をもつ階段が連なり、複数の巡りができ、豊かな景観が生まれる。



I

文化施設の入口

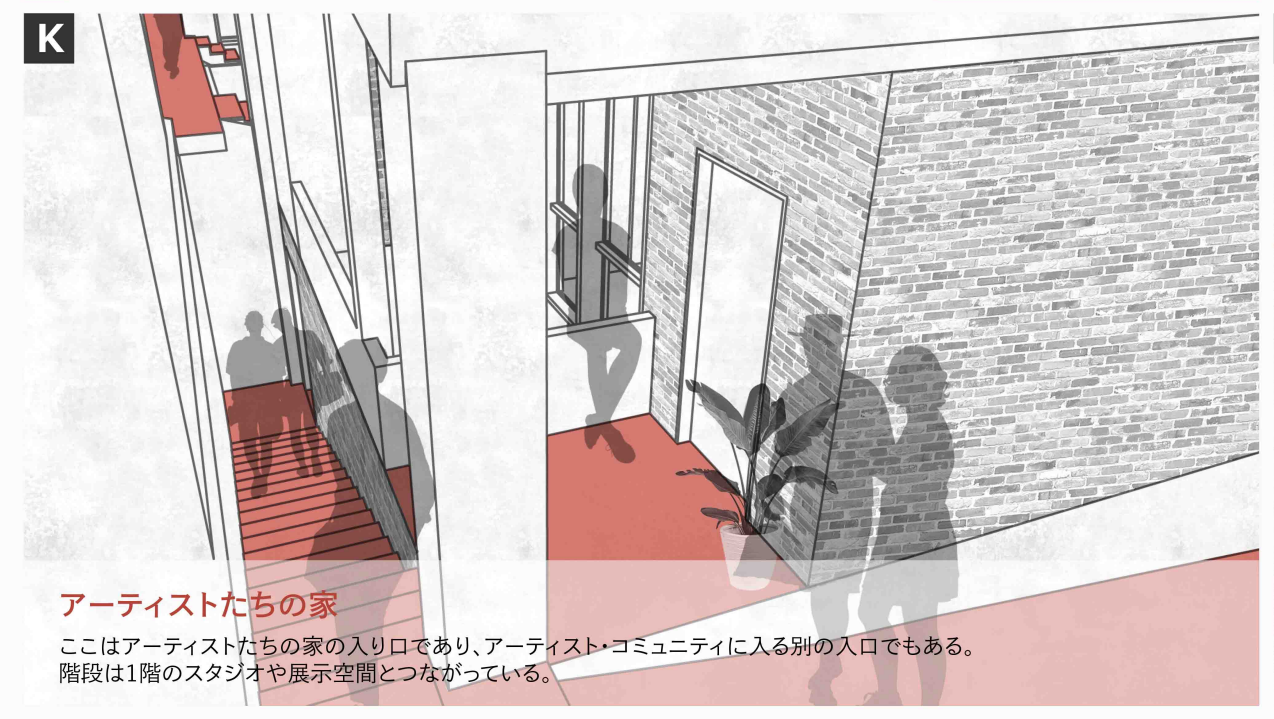
階層ごとに異なるジャンルのアーティストや伝統文化の展示空間と体験空間があり、好きなルートを決めて巡ることができる。文化施設の2階は2人のアーティストの展示空間であり、他のエリアとつながっているため通路の機能も併せ持つ。また、ここの階段は商店街と直結しているため観光客も訪れやすい。



J

アーティストの展示空間群

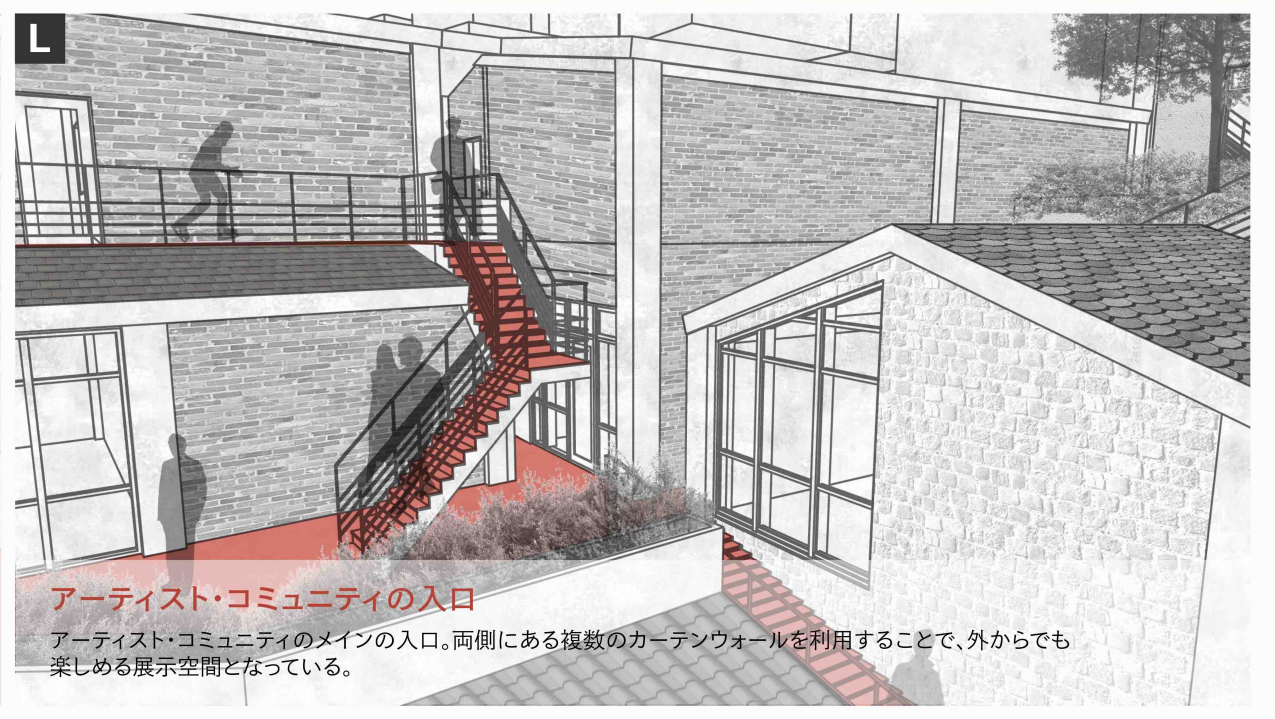
ここには5人のアーティストの展示空間があり、斜めの階段を利用して、観光客の視線を展示空間に誘導する。ここには自由な展示空間があり、複数のアーティストが合同で展示を行うことで、異なるジャンルのアーティストらの交流も生まれる。



K

アーティストたちの家

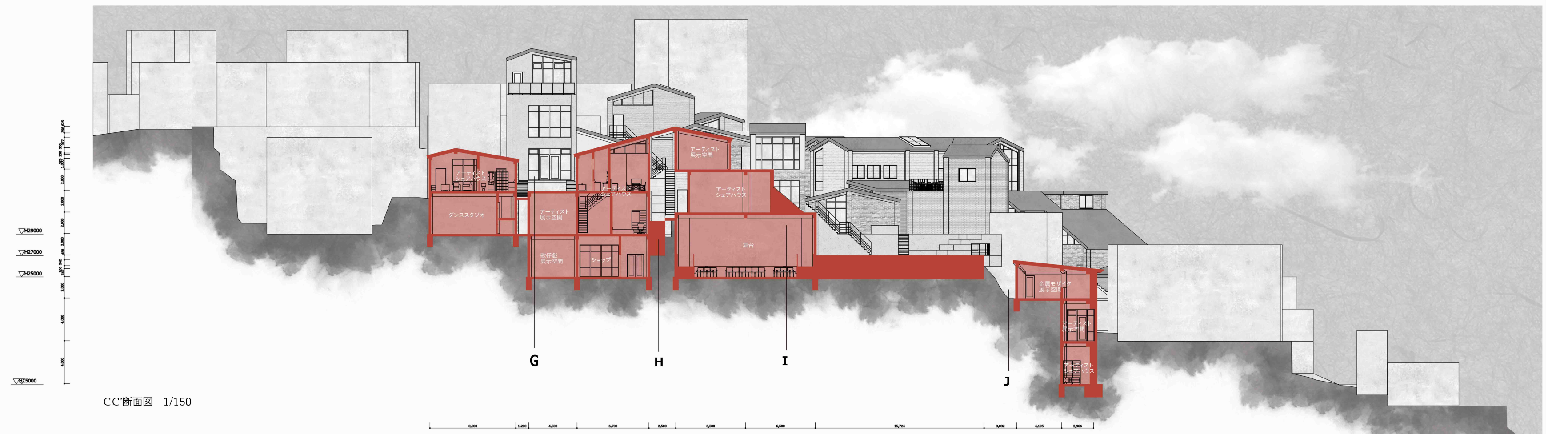
ここはアーティストたちの家の入り口であり、アーティスト・コミュニティに入る別の入口でもある。階段は1階のスタジオや展示空間とつながっている。



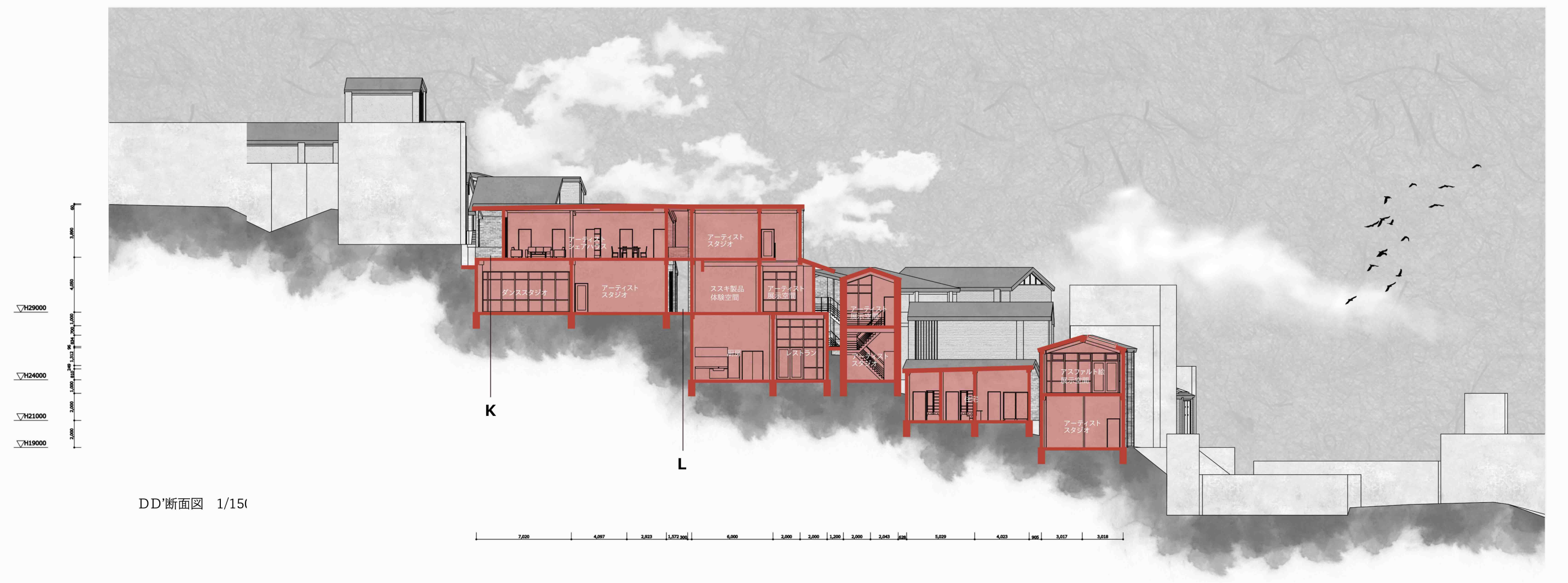
L

アーティスト・コミュニティの入口

アーティスト・コミュニティのメインの入口。両側にある複数のカーテンウォールを利用することで、外からでも楽しめる展示空間となっている。

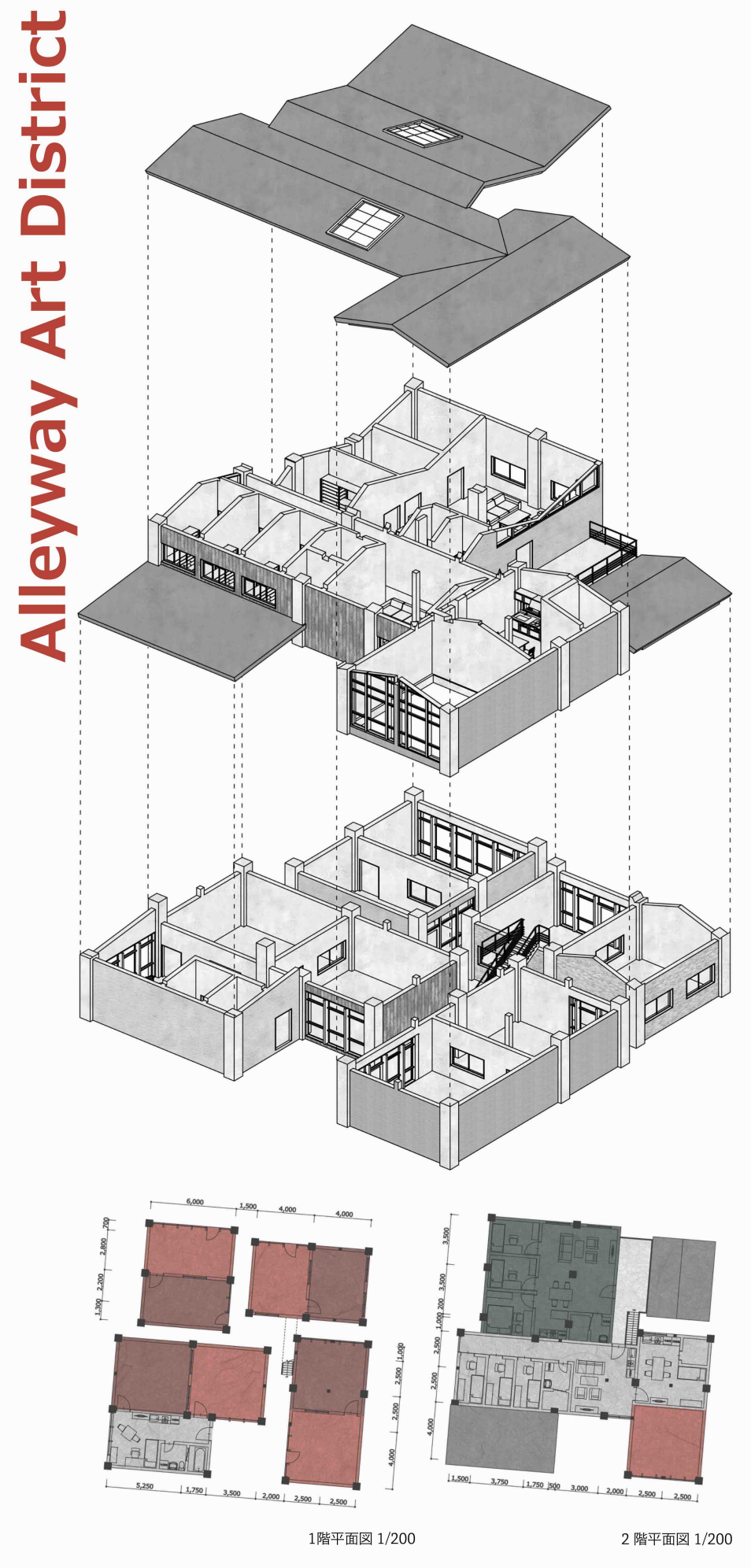


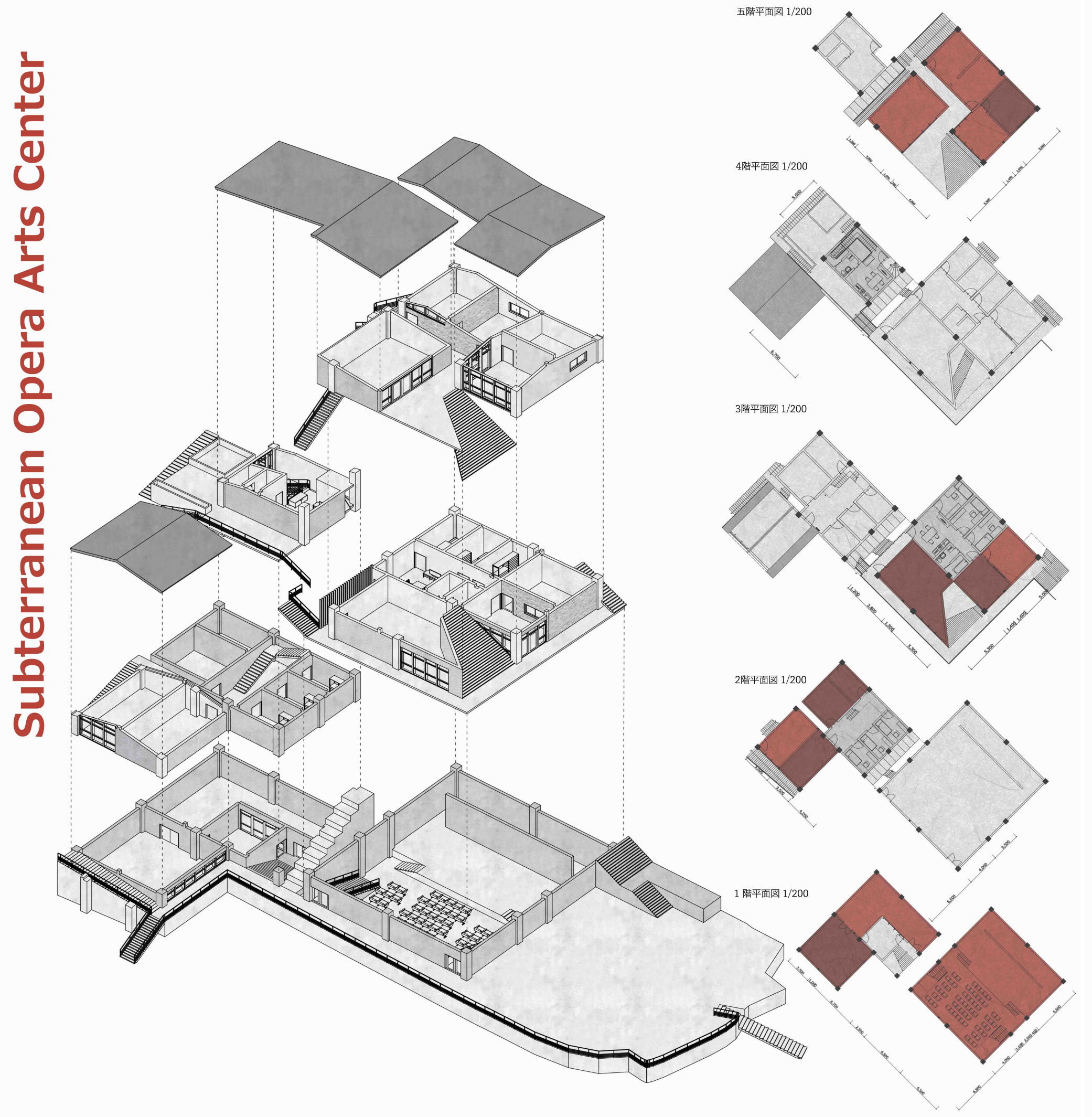
CC'断面図 1/150

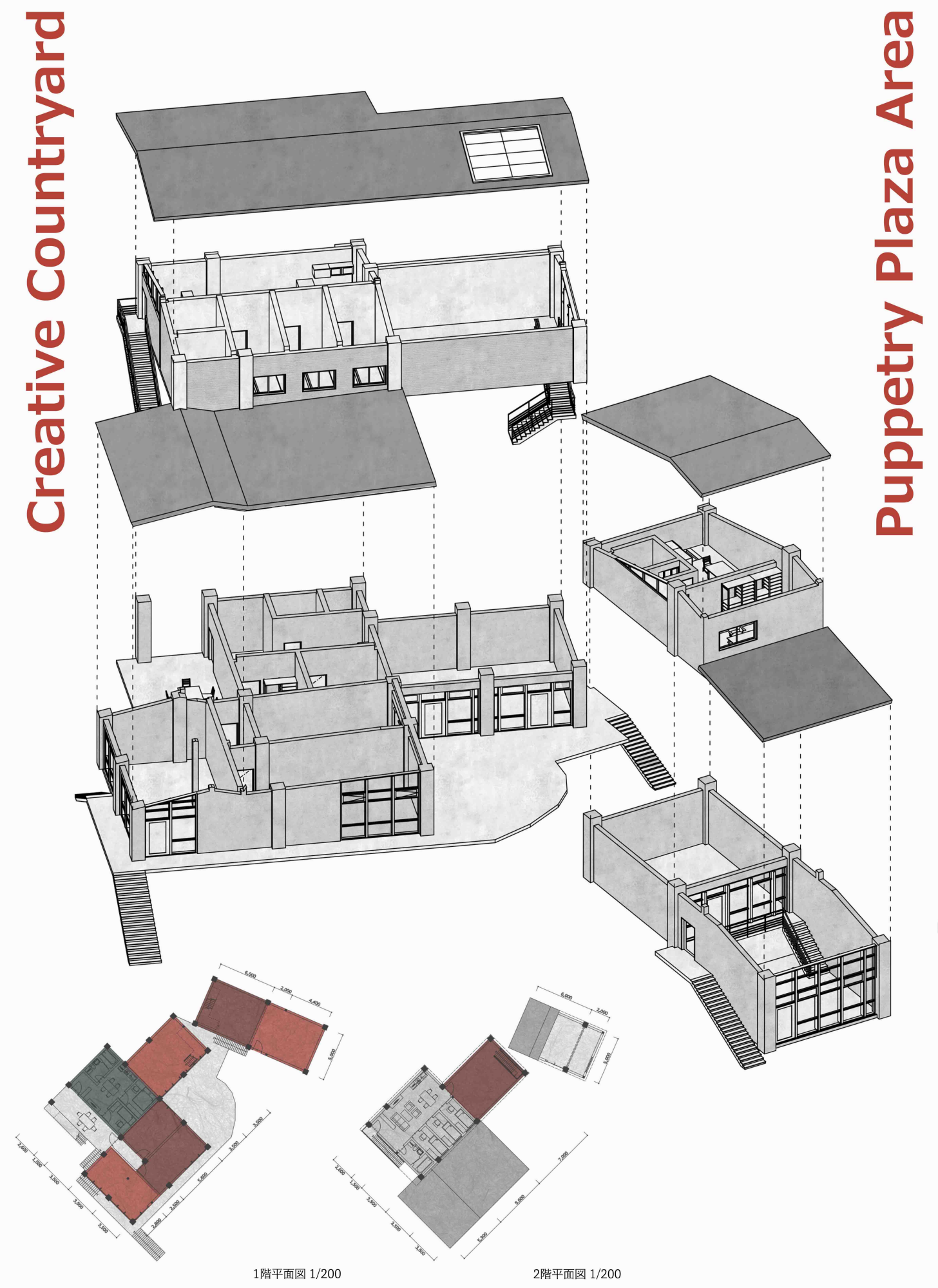


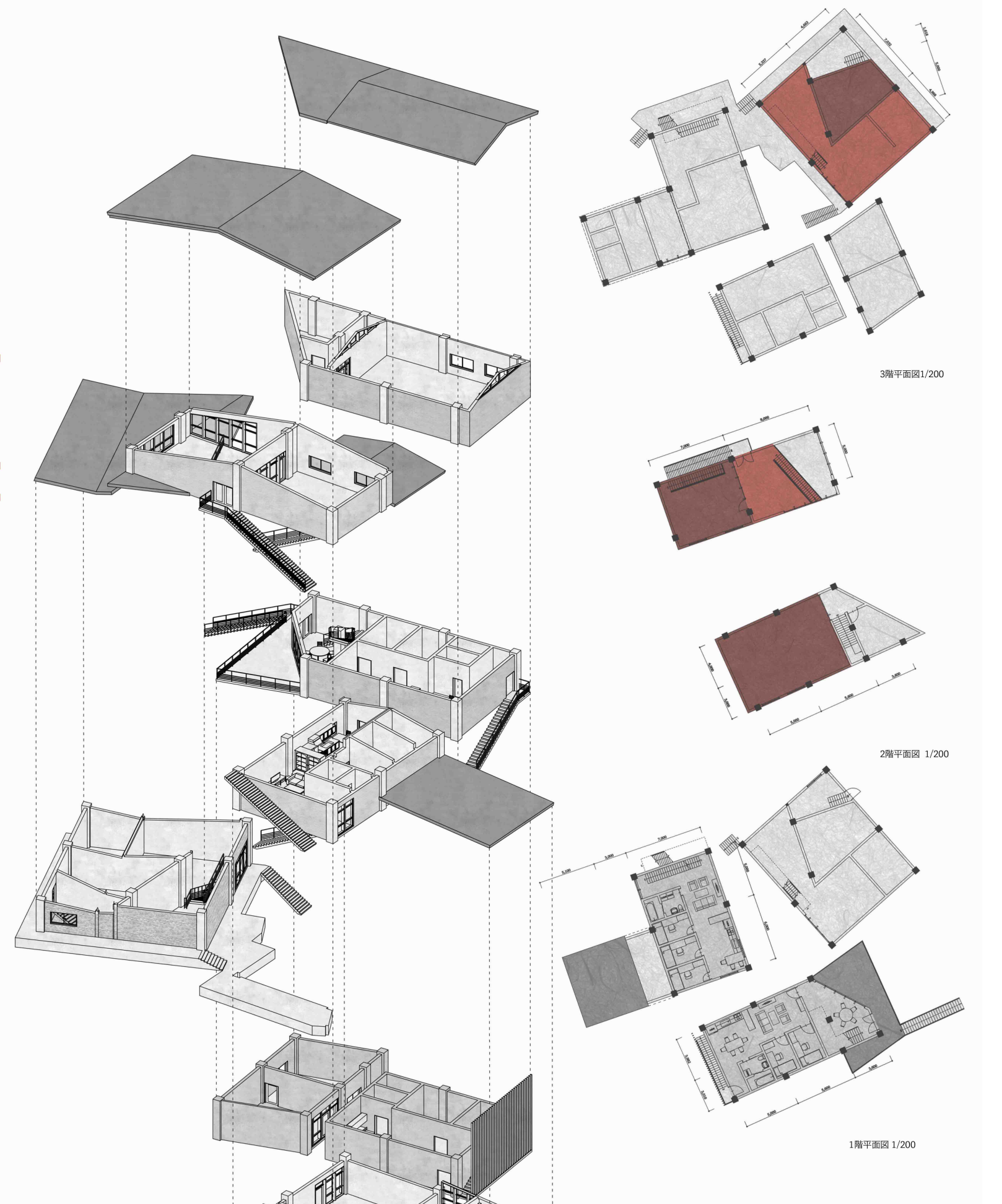
DD'断面図 1/150

13 部分平面計画


Alleyway Art District
1階平面図 1/200
2階平面図 1/200


Subterranean Opera Arts Center
五階平面図 1/200
4階平面図 1/200
3階平面図 1/200
2階平面図 1/200
1階平面図 1/200


Creative Countryard
1階平面図 1/200
2階平面図 1/200


Puppetry Plaza Area
3階平面図 1/200
2階平面図 1/200
1階平面図 1/200

🟥 展示空間
🟫 スタジオ
⬛ 住宅
⬜ アーティストの家